



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

期待される新病院へのアクセス確保

関南地区で新しい道路計画の説明会

1月18日、関南多目的集会所において、都市計画道路の変更の説明会が開かれました。現在、神岡地区で

工事がすすめられている北都幹線(二ツ島・関本中線)道路の、さらに延長部分についての説明会です。

これまでの県の線引きによれば、関南町関本下地区を通っている道路の幅が想定されていました。これに対して地元からは、北茨城高校の西側を通してほしいという陳情が出され、一昨年には議会でも採択されていました。今回、この地元要望にもそった内容での計画変更が示されました。



(関南多目的集会所、1/18)



がんばっぺ

大津町青年部が企画したミニのぼり

今後、詳細な地図が縦覧され(2月9日から一週間、高萩土木事務所と市役所2階都市計画課)、意見口述、公聴会の実施、市と県の都市計画審議会に諮問という流れで、早ければ今年の夏前には認められることが期待されるという説明でした。今回の県道計画は、3年後の完成をめざしている新



昨年説明会での市長は、北茨城高校近くの部分とそこにつながる市道については新病院建設に間に合わせたいと発言しています。

市立病院へのアクセス道路としても期待されるものです。これにつながる形で、現

行の市道の延長・整備の補正予算が12月議会で採択されています。

私は、1月13〜16日、静岡県熱海市で開かれた日本共産党第25回党大会に茨城県代表として一人として参加しました。

海沿いの伊豆多賀駅から、標高差170mの山腹にある会場まで、汗をかきながら山道を

登った。さすがに伊豆は、冬とはいえ暖かいのか、早咲きの河津桜がほころび、紅梅も咲いていました。

大会では志位委員長が、自公政治の退場をうけての「過渡的情勢」のもとでの日本共産党の任務と役割を確

第25回党大会に参加して 福田 明

きり言って反共があった。この

信をもって語りました。また、全国の代表の発言も圧巻でした。「労働者がついに立ち上がりました」と報道された「いすゞ自動車」のたたかい、格差と貧困で苦しむ人々を救済する活動、過疎の町にも党を数倍化さ



右から、稲葉のぶとし参院予定候補、市田書記局長、福田議員

せた活動、青年のはつらつとした発言、参院候補者の不退転の決意も相次ぎ、涙と笑いのある底抜けに明るい大会でした。

『反共の壁』がくずれている。出番の情勢を自覚してがんばってほしい」と激励しました。この大会での感動を伝えながら夏の参院選挙での前進と地域の政治革新のために、みなさんと共にがんばります。

後期高齢医療制度 保険料を上げるな

1月15日、日本共産党は県後期高齢者医療広域連合に対し、保険料値上げの中止を申し入れました。党の県議はじめ、市町村議員、福祉関係者、鈴木やす子市議も参加しました。この春見直される予定の保険料に対して、積立金を取り崩せば値上げをせずにすむはずだと迫りました。(要請書は裏面に)

この席上、各地からの実態も報告されました。12月議会で、積立金もあついで「値上げしないですむはずでは」との首長答弁もあったこと、新年の後期高齢者医療制度廃止の署名活動では、1時間で200名あまりの署名が集まり、お年寄りがこの制度に対して大きな関心を抱いていることが紹介されました。

「試算中の数字を示すのは慎重にならざるをえないという事務方の不安もあるかしれないが、払う方のお年寄りはもっと大きい不安を感じている」との声に、職員「耳の痛いこと」と感じる場面もありました。